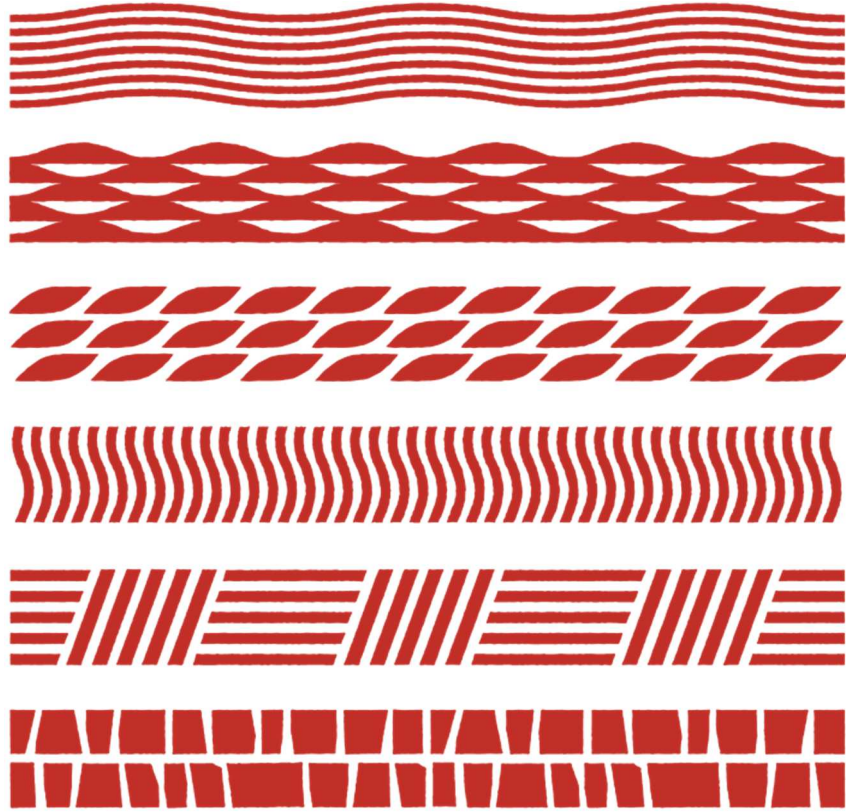




豊岡演劇祭2021
Toyooka Theater Festival

「豊岡演劇祭 2021」プレスリリース 2021.3.30



豊岡演劇祭

Toyooka Theater Festival

2021

【2021 開幕に向けて】

2020年に開催した、第一回となる豊岡演劇祭 2020には、大きく三つの意味があったと思います。

一つ目は「進化する演劇祭」として、日本初の本格的なフリンジ型演劇祭の可能性を、広く国内外に示せたことです。豊岡を訪れた演劇関係者の誰もが、豊岡演劇祭の未来に強い関心を寄せる結果となりました。

二つ目は、豊岡市内の観光事業者の皆様、演劇祭の持つポテンシャルをきちんと理解していただいた点です。文化観光は、これからの日本の観光産業の発展に欠かせないものです。特に、これまでカニやスキー、海水浴など、シーズンが限定される観光アイテムに頼ってきた但馬の観光産業にとって、ボトムを埋めて通年集客を実現する切り札となることを、多くの事業者の皆様にご実感として理解していただいたのは大きな成果でした。

三つ目はコロナ禍の中、極めて難しい舵取りを強いられながら開催にこぎ着けたことで、豊岡演劇祭は日本演劇界の希望の灯火となりました。中には半年ぶりの舞台だったと涙を流す参加者もいました。2021年もまだまだ東京では厳しい状況が続きます。この環境下で表現の場を守ることは大きな意義があると考えます。

豊岡演劇祭 2021 は、第一回の成果を受け、着実にその内容を充実させることを目指します。芸術文化観光専門職大学とも深く連携し、参加者も観客も笑顔にする演劇祭を実現したいと願っています。

フェスティバルディレクター 平田 オリザ

【開催概要】

名 称：豊岡演劇祭 2021 Toyooka Theater Festival 2021

主 催：豊岡演劇祭実行委員会（会長 豊岡市長 中貝宗治）

構成団体：特定非営利活動法人コミュニティアートセンタープラッツ、一般社団法人
豊岡観光イノベーション、豊岡ツーリズム協議会、兵庫県但馬県民局、
豊岡市、養父市

会 期：2021年9月9日（木）～20日（月・祝）

会場候補：城崎国際アートセンター、玄武洞公園、豊岡市民プラザ、芸術文化観光専門職大学、
豊岡市民会館、江原河畔劇場、出石永楽館、他豊岡市内各所、養父市、香美町

アートディレクション：(株)カナリア

【出演アーティスト】

公式プログラム：10 団体程度

フリンジプログラム：25 団体程度

【公式・フリンジ公募】

公募期間：2021年4月26日（月）～5月14日（金）

公式・フリンジ書類審査：2021年5月15日（土）～20日（木）

フリンジオンライン審査：2021年5月21日（金）～6月11日（金）

採択結果通知（予定）：2021年6月12日（土）

【企画・運営体制】

フェスティバルディレクター



平田 オリザ

1962年東京都生まれ。劇作家・演出家・青年団主宰。こまばアゴラ劇場、江原河畔劇場芸術総監督、四国学院大学社会学部教授。兵庫県豊岡市に開学の兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長予定。

1982年に劇団「青年団」結成。1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞受賞。「現代口語演劇理論」を提唱し、1990年以降の演劇界に大きな影響を与える。2000年以降、フランスを中心に各国との国際共同製作作品も多数上演している。

総合プロデューサー



相馬 千秋

アートプロデューサー、NPO 法人芸術公社代表理事。

横浜の舞台芸術創造拠点「急な坂スタジオ」初代ディレクター（2006-10年）、国際舞台芸術祭「フェスティバル/トーキョー」初代プログラム・ディレクター（2009-13年）等を経て、2014年にNPO 法人芸術公社を設立。国内外で舞台芸術、現代美術、社会関与型芸術を横断するプロデュースやキュレーションを多数行う。2015年フランス共和国芸術文化勲章シュヴァリエ受章。立教大学現代心理学部映像身体学科特任准教授（2016-21）。

「あいちトリエンナーレ 2019」パフォーマンスアート部門キュレーター。2017年に東京都港区にて「シアターコモンズ」を創設、現在まで実行委員長兼ディレクターを努めている。令和2年度(第71回)芸術選奨(芸術振興部門・新人賞)受賞。城崎国際アートセンターでは2014年開設時よりプログラム公募の選考委員を務めている。

Photo:Yurika Kawano

プロデューサー（公式プログラム）



藤井 さゆり

アートコーディネーター、制作。

日本大学大学院理工学研究科博士前期課程建築学修了。2011年より「フェスティバル/トーキョー」にて制作スタッフとして勤務。都市空間で展開するパフォーマンスや演劇プロジェクトの制作・マネジメントを担当。

2014年からはフリーランスとして様々なアートプロジェクト、パフォーミングアーツフェスティバル等のコーディネート・制作、若手育成事業の企画制作等を行う。2016年よりNPO法人芸術公社メンバー。2018年より玉川大学芸術学部パフォーミング・アーツ学科非常勤講師。あいちトリエンナーレ2019 アシスタントキュレーター／制作統括（パフォーミングアーツ）。

プロデューサー（フリンジ・地域連携・大学連携）



河村 竜也

アートプロデューサー、アートマネージャー、俳優。

芸術文化観光専門職大学教員採用予定。

ホエイ主宰。劇団「青年団」所属。

ひろばあそび研究所長兼アートディレクター。

1980年生まれ。広島県出身。2005年より劇団「青年団」に俳優として参加。以後、国内外の劇場、フェスティバルなどに参加。2014年にホエイをプロデューサーとして立ち上げる。2020年より豊岡演劇祭プロデューサーをつとめる。主にフリンジを担当。2021年ひろばあそび研究所を開設。

プロデューサー（広報・観光・企業連携）



田口 幹也

1969年、兵庫県豊岡市生まれ。豊岡市城崎町在住。上智大学法学部卒業。

（株）QUICK、日本IBM（株）を経て、危機管理情報配信サービス提供会社やサッカー専門新聞、飲食店運営会社等の立ち上げに参画。2011年の東日本大震災を機にUターン。豊岡市大交流アクションプランアドバイザーとして、2013年から「豊岡エキシビジョン」の企画・運営に携わるほか、NPO法人「本と温泉」の立ち上げ等、豊岡市の魅力を発信するための活動を行う。2015年より、城崎国際アートセンター館長／大交流課参与。

【問い合わせ先】

豊岡演劇祭実行委員会事務局（豊岡市環境経済部大交流課内） 担当：木村

TEL：0796-21-9081

E-mail：toyooka.theaterfestival@gmail.com